

I-1. 平成24年度(2011-2012期)事業報告

当該年度は、当法人の活動を広く発信し、より多くのアーティストが「芸術家ならではのヘルスケア」への関心を高め、主催セミナーに足を運ばなくても、できることから実践していきける道筋を作ることを目指した。Gボール協会との共催によるアーティストを指導する側のフィットネス系指導者、治療家にアーティストの特性を共有する機会作りも新たな試みであった。また、5年ぶりとなる「芸術家の健康に関する実態・ニーズ調査」を実施、日本の芸術家の状況をデータとして集約するという当団体ならではの活動に注力した(報告書のまとめ、頒布は次年度)。ホームページのリニューアルにあたっては、一方的な情報発信の場ではなく、ポータルサイトとなるべく、気軽に楽しめるコンテンツからいざというときに役立つコンテンツを盛り込み、「使えるツール」と認知されることを目指した。

本NPO法人が第6期(2011年10月1日から2012年9月30日まで)に行った主な事業は次の通り。

(1) 教育事業

① 芸術家向けセミナー

- a. 「カラダの仕組み&コンディショニング実践講座」ダンサー・ダンス指導者対象

日 時：10月12日・19日・26日・11月2日 全4回

会 場：芸能花伝舎(東京都新宿区)

参加者数：のべ35名

- b. 「フェルデンクライスセミナー」全ジャンルアーティスト対象

日 時：3月14.15.21.22日 全4回

会 場：芸能花伝舎(東京都新宿区)

参加者数：のべ40名

- c. 「ダンス指導者なら知っておきたいカラダの仕組み」ダンス指導者対象

日 時：4月24日、5月24日、6月26日、7月17日 全4回

会 場：芸能花伝舎(東京都新宿区)

参加者数：のべ46名

- d. 「ヘルスケアセミナー」全ジャンル対象

日 時：6月17日(日)

会 場：芸能花伝舎(東京都新宿区)

参加者数：92名 (のべ243名)

- e. 「ベストパフォーマンスへ導くJSA」全ジャンル対象

日 時：7月17日(日)

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者数：31名

共催：特定非営利活動法人日本Gボール協会

- ② 医療関係者・治療師・トレーナー等ヘルスケア専門家向けセミナー
 「身体感覚を磨くボールコンディショニングJSA」 上記①-e と同時実施
 日 時：7月17日（日）
 会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター
 参加者数：31名
 共 催：特定非営利活動法人日本Gボール協会
 資格認定ポイント：健康運動指導士他、資格更新ポイント対象

- ③ 他団体協力・大学出張講師等
- a. 新国立劇場研修所 ヘルスケアプログラム 企画・実施
 - b. 慶應義塾大学文学部「アート・プロデュース講座」ゲスト講師
 - c. 昭和音楽大学舞台芸術センターバレエ研究所シンポジウム パネリスト
 - d. 現代舞踊協会 「現代舞踊新進芸術家育成 Project」企画協力
 - e. 長唄協会主催「第2回声とからだの勉強会」企画・運営協力

(2) ヘルスケア支援事業

- ① 医師・治療師・インストラクター等会員情報公開（随時更新）
- ② 個別医師等照会
- ③ ヘルスケア助成公募・助成 1名

(3) 調査研究支援事業

- ① 「芸術家の健康に関する実態・ニーズ調査2012」アンケート調査実施
- ② ダンス医科学研究会 開催広報協力

(4) 普及啓発事業

- ① ホームページリニューアル 新コンテンツ「実践！芸術家のヘルスケア」オープン
- ② 会員向けメルマガ発行
- ③ 一般向けメルマガ発行

(5) 組織運営

- ① 会議開催 会場：芸能花伝舎（東京都新宿区西新宿）

第5回定時総会	11月29日
第35回理事会	1月24日
第36回理事会	2月21日
臨時理事会（助成対象者決定）	3月27日
第37回理事会	4月24日
第38回理事会	9月20日

- ② 会員数（2012年9月30日現在）
 個人221人 団体4団体

以上